



カエデ 山染める 六甲山

柔らかい春の日差しを受けて、カエデの群生が六甲山の山肌を紅色に染めている。冬芽が膨らみ始め、枝先が赤みがかってきたことによるもので、この時季の風物詩となっている。

神戸地方気象台によると、7日の最高気温は神戸、姫路でいずれも12度と平年並みの見込み。8日からは低気圧が通過するため、兵庫県内では天気が崩れるが、週が明けた13日ごろからは、平年よりも気温が高

く穏やかな陽気となる。今後も寒暖や雨を繰り返しながら、春本番を迎えていく。

(阪口真平)

赤く色づいたカエデの冬芽 11月7日午前、神戸市灘区六甲山町(撮影・大森 武)